



ITmedia
インフラプライズ

ITmedia
ITセキュリティ

RPA.BANK by キーマンズネット

ITmedia DX Summit vol.9

逆境を克服するDX 逆転突破の技術

[集合型オンラインセミナー (Live配信)]
Ver.3.0

開催予定日 : 2021年9月13日週
事前申込 : 約550名想定
申込締切 : 2021年6月25日 (金)

アイティメディア株式会社
営業本部

TEL : 03-6893-2246 / 2247 / 2248

Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

2020年、IPAが発表した「DX推進指標 自己診断」の結果によれば、回答した500社のうち、9割以上がDXに未着手か、散発的な取り組みに留まることが明らかになりました。

2021年1月にITmedia エンタープライズが実施した読者調査でも同様の実態が分かりました。危機感を持ちながらも組織全体の成し遂げたいビジョンや戦略の欠如、人材不足、レガシーシステムや既存の業務プロセスが足かせとなり、DX推進担当者らが身動きを取れない状況に苦悩する姿が少なくありません。

こうした中で、IT人材を外に求めるなどしてCxOを置き、伝統的日本企業の「昭和的なもの」「アナログなワークフロー」「デジタル化されない情報」と向き合う取り組みが増えてきました。逆境下の挑戦を「やりがい」として企業に飛び込み、外部の感覚を持って大胆な改革祖推進する「DX請負人」ともいえるITプロフェッショナルも増えつつあります。彼らのような改革者は、何を見て、どう戦略を理解し、戦術を組み立てているのでしょうか。

DX推進プロセスはある程度の体系化はされています。しかし実際には企業の業種業態、実務の状況などによって企業が成長するためのコアコンピテンシーをどこに見いだすかによって、戦略も戦術も着手すべき施策領域も大きく異なります。

本イベントは、逆境下にあっても企業の成長戦略をDXの戦術や実務に落とし込み、DXの推進を牽引するITプロフェッショナルを招き、事例を交えながら実務上の課題、解決のために活用したソリューションを着手領域や戦術ごとに紹介します。

DXの主要テーマから4つのゾーンを設定

Day1

ITモダナイズに
向けたIT基盤の刷新

Day2

データ基盤整備と
データ活用の実務

Day3

日本型DX～
内製化の実践

Day4

業務
オートメーション

イベント概要

開催概要

開催予定日 : 2021年9月13日週 ※調整中

イベント形式 : 集合型オンラインセミナー
(Live配信)

事前申込 : 約550名想定

視聴者参加費 : 無料

想定来場者 : 経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、
企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

告知／集客 : @IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブを中心とした当社媒体

主催 : @IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
(以上、アイティメディア株式会社)

運営 : アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

オンラインセミナー 配信画面イメージ

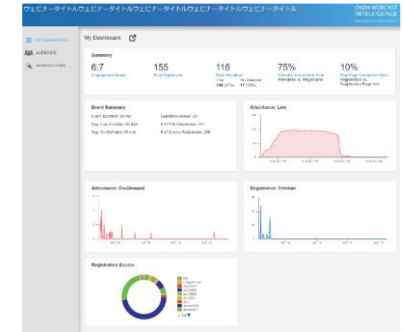
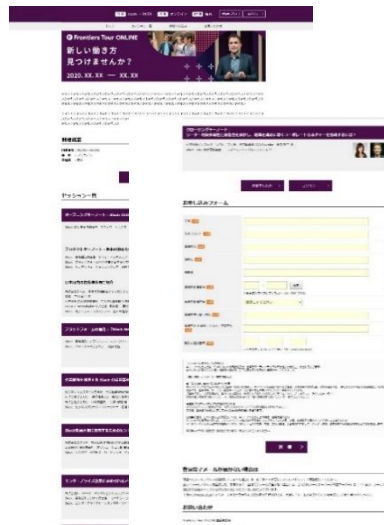


集客

申込

オンライン
セミナー
(Live配信)

イベント
レポート



通常イベントと同様にアイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

Live Webセミナー 画面イメージ

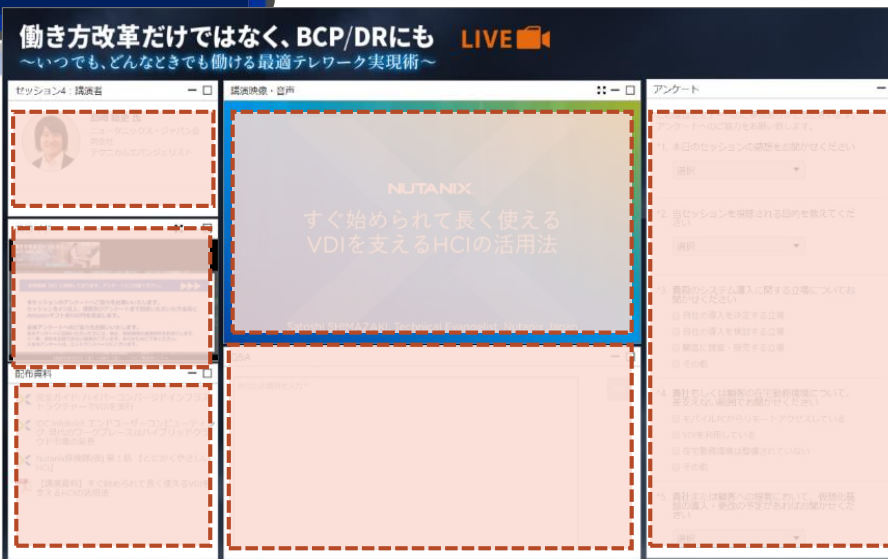
▼セミナー会場 エントランス画面 ※画面レイアウトは過去のセミナーのものです。



イベントタイトル・概要

ゾーン紹介

クリックで講演／
セッション画面へ



セッション
画面

詳細はp6に記載しております。

The screenshot shows a web browser window displaying a seminar interface. The interface is divided into several sections:

- Top Header:** Title "働き方改革だけではなく、BCP/DRにも" (Not just for work style reform, but also for BCP/DR) and a "LIVE" indicator with a camera icon.
- Left Sidebar:**
 - ① 講演者紹介 (Speaker Introduction):** Shows a profile picture and name of the speaker.
 - ② 講演映像 講演スライド (Lecture Video / Lecture Slides):** Displays a video player and a list of slides.
 - ③ 資料ダウンロード・関連リンク (Download Materials / Related Links):** Lists downloadable materials and related links.
- Main Content Area:**
 - ② 講演映像 (Lecture Video):** A large video player showing the speaker.
 - ④ 質問送信フォーム (Question Submission Form):** A form for submitting questions.
- Right Sidebar:**
 - ⑤ 常時表示可能なアンケート (Always Displayable Survey):** A survey form with multiple-choice questions.

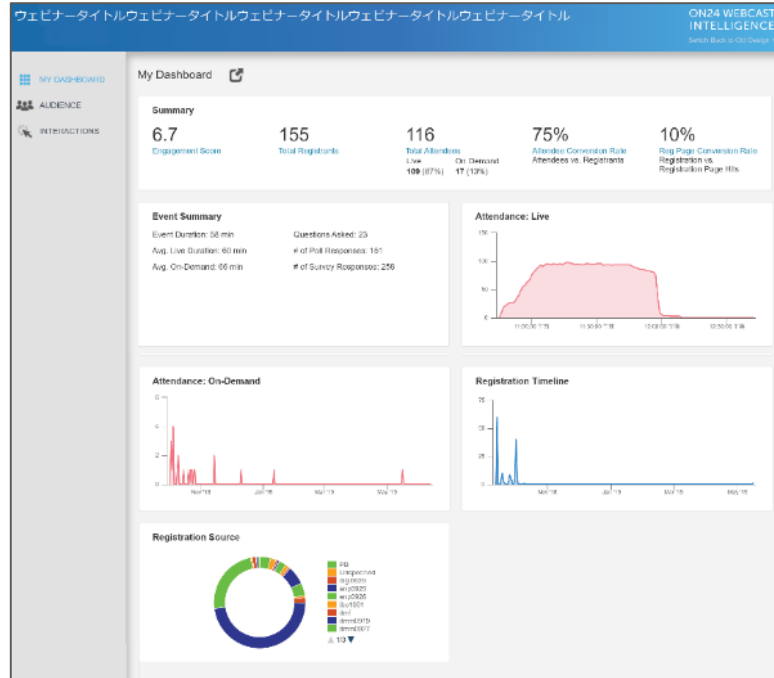
④ 質問送信フォーム

配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。
※スポンサー様がQA実施を希望された場合のみ

講演配信だけではなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

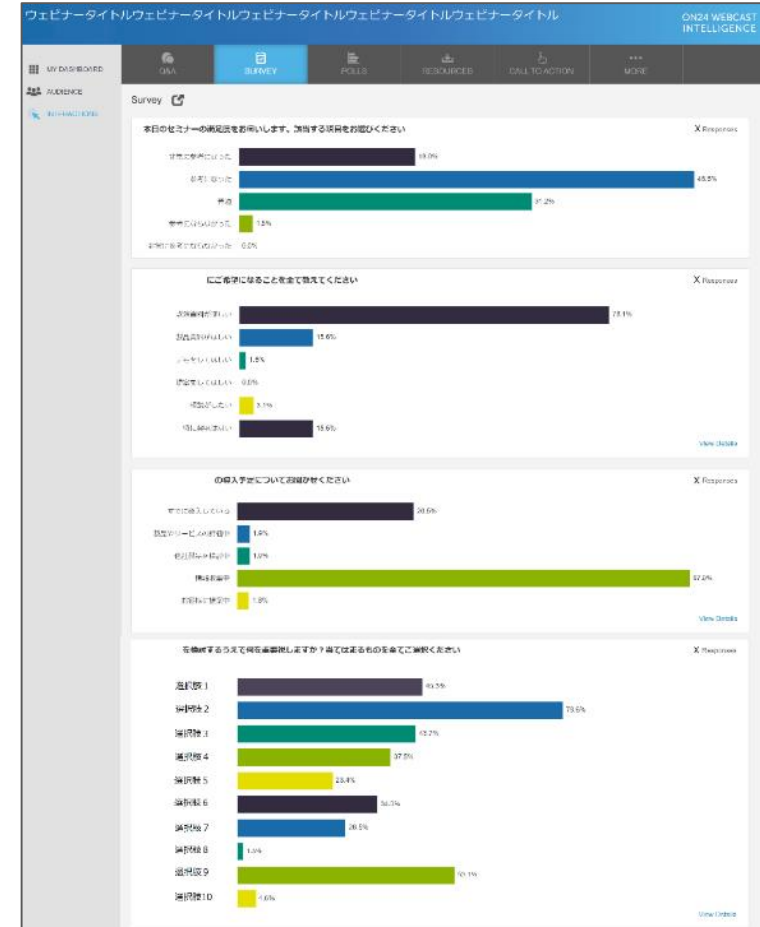
オンラインイベントならではの強力なレポート機能

セッション視聴者の視聴時間、流入経路、アンケート結果などを視認性の高いダッシュボードでリアルタイムにご確認いただけます。



オンラインレポート掲載項目

- ・視聴者情報（登録項目、登録日時、登録経路、OS、ブラウザなど）
- ・ライブ/オンデマンドの視聴人数、平均視聴時間
- ・ライブの最大同時視聴数、視聴人数の推移
- ・Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴



ゾーン概要 想定ソリューション・キーワードのご紹介

Day1. ITモダナイズに向けたIT基盤の刷新

DX推進に求められる役割と、パートナー

企業の情報システムは、これまで何よりも安定稼働が求められ、情報システム部門はコストを抑えながらそれを実現することに腐心してきたと言っていいでしょう。しかし、今や企業にとってデジタルテクノロジーによるビジネスの変革が避けては通れません。情報システム部門には、新たなビジネスの迅速な実現やモバイルアプリによる顧客接点の強化など、デジタルテクノロジーをビジネスに生かす取り組みが強く求められています。

新たなミッションを遂行するアプローチとして、デジタル専門チームを組織したり、開発チームと運用チームを緊密に連携させる取り組みを始めたりしていますが、単に新しいツールを導入するだけでは実現は難しいでしょう。

まずは、情報システムの棚卸しで現状をしっかりとつかみ、効率良く基盤のモダナイズを図り、さらにユーザーや顧客のニーズをデータに基づいて的確に把握、新たな価値を迅速に提供していく必要があります。

組織の文化を変えていくカイゼン活動とDXの推進について、有識者とともに議論を進めます。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。



東京海上日動システムズ株式会社 取締役
小林 賢也 氏



TERRANET 代表
寺嶋 一郎 氏

Day2. データ基盤整備とデータ活用の実務

データ活用とデータ活用基盤 ～新しい時代に突入した「企業と顧客、企業とモノの関係」

コロナ禍を経て、企業と顧客、企業とモノの関係は変化しつつあります。

toCビジネスでは顧客とのタッチポイントのオンラインシフトが進み、同時にオフラインのコミュニケーションでも信頼を醸成する一貫性が求められます。toBにおいてもtoCと同じようなユーザー体験やBtoBtoCを想定した提案が必要です。

企業とモノの関係では有事への対応の課題が浮き彫りになりました。子会社や取引先を含むサプライチェーンリスクや需要の急激な変動に対応したオペレーションが求められます。これにはデータの高度な可視化と意思決定支援が欠かせません。

商取引においては環境への配慮や政治的公平性が、モノの情報管理においては従来以上に高い精度と適切な情報開示が強く求められています。社会的責任を担う企業は、これらに迅速に対応できる環境を整えておく必要があります。

企業が抱える課題やありたい姿によって実践のアプローチは大きく異なりますが、データの種別を問わずあらゆる情報を集約できること、当事者が自ら判断できることが重要です。

Day2では、新しい時代に突入した「企業と顧客、企業とモノの関係」のあるべき姿と、それをITシステムに落とし込む方法を考えます。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。



ヤマハ発動機 デジタル戦略部 主査
大西 圭一 氏



LIXIL 常務役員 Digital部門システム開発運用統括部 リーダー兼コーポレート&共通基盤 デジタル推進部リーダー
岩崎 磨 氏

クラウドネイティブの実践に必要な技術・プロセス・組織とは？

ビジネスのデジタル化が急速に進展し、アプリケーション開発・運用の在り方そのものが差別化の一大要件となっています。

ニーズに即応できる開発・リリースのスピードはもちろん、自社ならではの価値をストレートに実装・改善できる設計・開発の在り方、リリース後もサービスを安定的に運用できるインフラ監視・管理の在り方など、「今に即した仕組み」が日に日に強く求められています。

これらは「クラウドネイティブ」「内製化」というキーワードをもって多くのメディアで紹介されていますが、その「取り組みの具体的中身」は意外にも正しく知られていないのではないのでしょうか。

実践にはどのような技術、プロセス、組織が必要なのか。Day3では、今改めて内製化とクラウドネイティブの構成要素を徹底解説し、実装・改善に向けたヒントを包括的に提供します。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。



ベネッセコーポレーション デジタル開発部 スクラム推進課
小西 啓佑 氏



SOMPOホールディングス デジタル戦略部 課長代理
西野 大介 氏

定型業務のデジタル化、自動化から始めるDXの第一歩

業務のオンラインシフトが進み、多くの企業がより効率のよいITの使い方を模索しています。テレワークに対応する業務環境の拡充も進んだことでしょう。オンラインでできる仕事が増え、商談やディスカッションのオンライン化が定着しました。電子帳簿保存法やデジタル手続き法などの各種関連法の施行も、こうしたトレンドを後押ししています。

今、大きな課題となっているのが、業務プロセスの中に潜む「アナログ」なコミュニケーションプロトコルです。例えば大量の帳票を扱う公的機関や企業の経理部門の負担は大きいまま取り残されています。本来、定型処理の自動化（オートメーション）は生産性向上効果が非常に高く、業務デジタル化のきっかけとしやすい領域のはずです。

Day4は、RPA BANKが9月にITmedia（キーマンズネット）に合流することを記念して、業務プロセスのデジタル化から始めるDXを考えます。RPAやAI活用による業務プロセスの自動化や、アナログなコミュニケーションプロトコル解消のヒント、新しい働き方に適したコミュニケーションのあり方を紹介します。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。



一般社団法人日本RPA協会 代表理事
RPAテクノロジーズ株式会社 代表取締役執行役員社長
大角 暢之 氏



COCO CONNECT株式会社 代表取締役
竹内 瑞樹 氏

オンラインセミナー（Live配信） 開催スケジュール

ゾーン	Day 1 ITモダナイズに 向けたIT基盤の刷新	Day 2 データ基盤整備と データ活用の実務	Day 3 日本型DX～ 内製化の実践	Day 4 業務オートメーション	Day 5 専用ゾーン
13:00 13:40	基調講演1 (Live/40分)	基調講演2 (Live/40分)	基調講演3 (Live/40分)	基調講演4 (Live/40分)	基調講演5 (Live/40分) ダイヤモンドスポンサー
13:50 14:20	スポンサーセッション(1-1) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(2-1) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(3-1) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(4-1) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(5-1) (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
14:30 15:00	スポンサーセッション(1-2) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(2-2) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(3-2) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(4-2) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(5-2) (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
15:10 15:50	特別講演1 (Live/40分)	特別講演2 (Live/40分)	特別講演3 (Live/40分)	特別講演4 (Live/40分)	特別講演5 (Live/40分) ダイヤモンドスポンサー
16:00 16:30	スポンサーセッション(1-3) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(2-3) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(3-1) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(4-1) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(5-1) (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
16:40 17:10	スポンサーセッション(1-4) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(2-4) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(3-2) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(4-2) (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション(5-2) (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー

※ タイムテーブル・時間は仮となります。また日数、プログラムはスポンサー数によって変更となる可能性があります。

- ・会期終了後、全セッションを事前登録者に向けアーカイブ配信いたします。（2週間～1カ月予定）
- ・ライブ配信の会場は当社（アイティメディア株式会社）セミナールーム内のスタジオを予定しております。
- ・ライブ配信当日のご予定の調整が難しい場合は、セミナー動画を事前収録のうえご提出ください。
当該セッションのライブ配信時間帯に収録動画を配信いたします。

スポンサープラン

メニュー	ダイヤモンドスポンサー (専用ゾーン設置：限定2社)	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	全リスト スポンサー	ゾーンリスト スポンサー
スポンサーセッション セミナー当日、30分のセッション枠をご提供いたします。	○ (ゲスト+2セッション) Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	—	—
スポンサーアンケート 講演時間中に独自のアンケートを実施していただくことが可能です。	○	○	○	—	—
全申込者リストのご提供 セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	—	全申込者 約550名想定	—	全申込者 約550名想定	—
協賛ゾーン申込者リストのご提供 協賛ゾーンの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	○	—	ゾーン申込者 約250名想定	—	ゾーン申込者 約250名想定
自セッションの視聴者データのご提供および、自セッションのレポートサイトのご提供 自セッションのレポートサイトをご提供します。 セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。	○	○	○	—	—
事前アンケート結果 申込時に立場や選定状況等を尋ねます。これらの回答内容を付随したデータを後日納品します。 見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役にてください。（設問は弊社設定）	○	○	○	○	○
スポンサーロゴ掲載 セミナー告知ページに掲載（貴社サイトへのリンク）します。	○	○	○	○	○
資料配付 セミナー参加者にカタログなど3点までダウンロード提供が可能です。 ※ご講演資料については、貴セッション内での配布が可能です	○	○	○	—	—
主催アンケート結果・開催報告書 主催アンケートの集計結果を後日ご提供します。（個人情報を含みません）	○	○	○	○	○
※お申込みが申込締切日以降となった場合、各プランとも上記の申込者/来場者データ数に達しない可能性があります。 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。 また、スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたしますのでご了承ください。	¥4,500,000- (消費税別)	¥2,800,000- (消費税別)	¥2,000,000- (消費税別)	¥1,400,000- (消費税別)	¥900,000- (消費税別)

■オプション① PR記事（@IT/ITmedia エンタープライズ/ITmedia エグゼクティブ Special） 上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、タイアップ記事（貴社セッションをフォーカスしたイベントレポート記事も可）を特別価格で提供いたします。※実施メディアをひとつお選びください	¥1,000,000- (消費税別)
■オプション② セッション動画納品 上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。 (Live配信セッションのみ／編集なし)	¥50,000- (消費税別)

お申込み締切：2021年6月25日（金）

※価格はすべて（税抜・グロス）表記です。

編集部企画のゲストセッション＋貴社セッション×2枠から構成される
貴社専用ゾーンを設置するプランです。

ポイント

①アイティメディア編集部が貴社専用ゲストセッションを企画

貴社の訴求内容に親和性の高いコンテンツの企画とゲストのアサインを
アイティメディア編集部が担当します

②貴社ゾーンの事前申込者リストをご提供

貴社専用ゲストセッションを含めた、貴社ゾーン全体の
事前申込者リストをご提供いたします（想定250名想定）※2

ゾーン構成

ゲストセッション
（編集部企画 40分間）



貴社セッション①※1
（30分間）

貴社セッション②
（30分間）

専用ゾーン ご提供内容

- ・ゾーンゲストセッションの企画・セッティング
- ・貴社セッション枠×2
- ・貴社セッションのレポートサイトご提供（視聴者データ）
- ・ゾーン事前申込者のリスト提供（250名想定）※2
- ・事前アンケート結果のご提供
- ・貴社ロゴの掲載
- ・視聴者向け資料データのダウンロード配布（カタログなど3点まで）
- ・主催アンケートの集計結果・開催報告書のご提供（※個人情報なし）

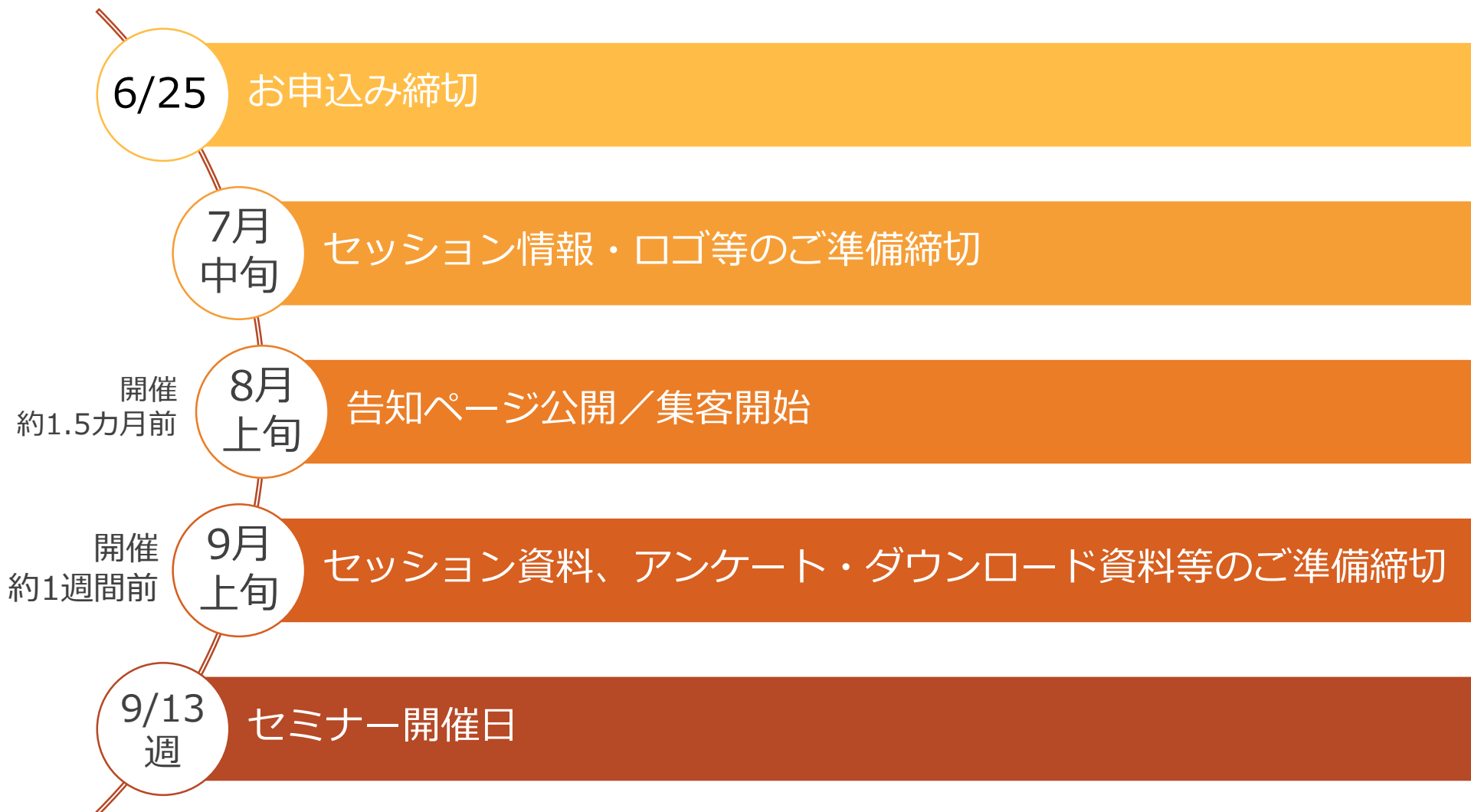
ダイヤモンドスポンサー
「専用ゾーン」設置プラン 限定2社

ご提供価格：¥4,500,000-
（消費税別）

※1：貴社セッションのコンテンツについては貴社にてご用意ください。

※2：全事前申込者リスト納品をご希望の場合は
¥1,000,000-の追加オプションにてご提供可能です。
事前に営業担当までご相談ください。

開催までのスケジュール（予定）



※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

オンラインセミナー ご留意事項

配布資料について

本セミナーでは配布資料としてカタログなどを3点まで、ダウンロードもしくは外部リンクにて配布することが可能です。

3点とは別に講演資料もこちらで配布することが可能です。

- ・資料形式：PDF、リンクURL

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ON24）における障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。ON24は障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報データの取り扱いについて

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ（以下「個人データ」という）は、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

3. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

7. (委託)

貴社で、個人データを業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。

また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

ご参考
ITmedia総力特集「ITmedia DX」
スポンサードプランのご案内

ITmedia **DX**

対象読者 DXの推進担当である経営・経営企画
事業部門ビジネスリーダークラス
情報システム部門

テーマ ビジネスプロセスのデジタル化
業務システムのクラウド化
データ活用
AI活用
事業創出
組織変革

協力媒体 ITmedia NEWS
ITmedia ビジネスオンライン
ITmedia エンタープライズ
@IT
ITmedia エグゼクティブ

URL <https://www.itmedia.co.jp/topics/dx.html>
2021年2月24日オープン

ITmedia DX
経営に価値あるDX視点を

新着記事

- Microsoftが金融、製造業、H POR向けクラウドソリューションを新たに発表 その目玉機能は
- 増え続けるSaaSをどう管理するか？ メタブスが管理サービスを提供する
- 「約3分の2の企業は期待通りにクラウドの価値を享受できていない」 アタセンチュア調査
- iOS版に不具合もアプリの修正では対応できず、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」で通知を受け取れない
- オフィス縮小移転で年間6000万円削減、浮いた費用どう使う？ “せせこまし”しないと言った会社の事例
- ナビタイムが開発チームのコラボ環境をSaaSに移行、9カ月の経験で分かったメリット、デメリット
- コロナ禍で急増する「日本式・型ビジネス」 改革途上の地獄が「統合」だけでは乗り切れないというワケ
- アドビとDNP、コンテンツ制作支援サービスを共同開発へ。集約管理、配信、広告の効果測定など
- Linux Foundationが日本語のオンライン講座「Linuxシステム管理入門」を提供開始
- 電気やガスの料金窓口が「電話だけ」「店舗でつながらない」——レガシーな仕組みを1年で刷新、チャットやAIまで実装した方法

金融 × DX

DXトレンド解説

金融サービスのUXはどう変わるか、体験と消費の再設計とその指針

いま注目の自律分散型組織「ティール組織」とは何か？

ITmedia DXにスポンサーードいただくことで読者からの信頼醸成を後押しし、
またプロモーション目的にあわせたスポンサーードプランのご用意もございます



ITmedia DX閲覧企業レポート

DX関連記事の閲覧動向を、企業ドメインごとに閲覧上位100社についてレポートニング。
こういった情報が読者に求められているのか、こういった企業がDXに関心を寄せているのか可視化

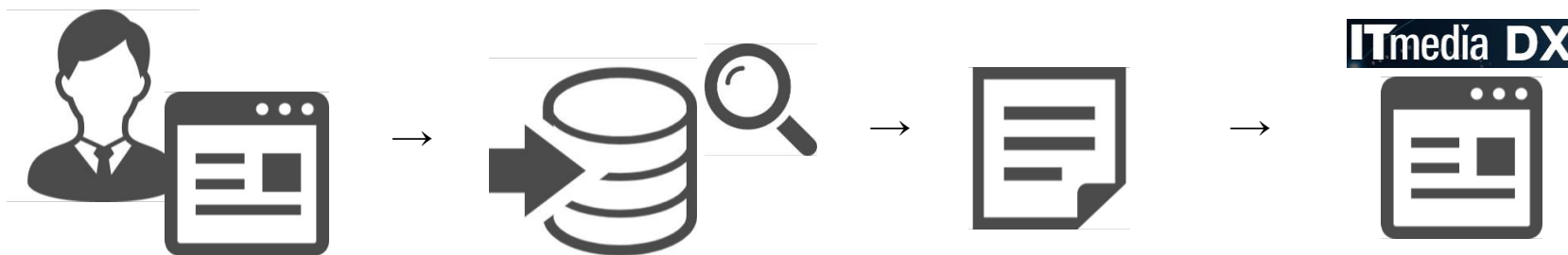
行動履歴ターゲティングタイアップ

読者の行動データ（記事閲覧履歴）を元に「興味・関心」を特定し、「DXに興味・関心が高い人」を対象としたタイアップ記事広告を展開

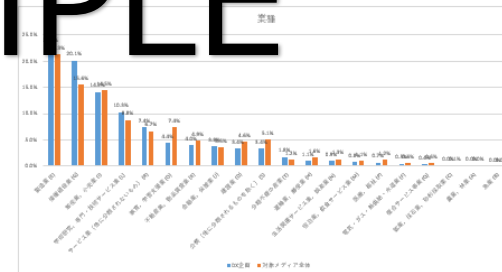
ITmediaDX Summit

約5日間にわたり、DXをテーマとした複数社協賛型オンラインイベントを開催。

プロモーション



SAMPLE



読者の行動データ（記事閲覧履歴）を元に「興味・関心」を特定
「DXに興味・関心が高い人」だけをタイアップへ誘導

誘導広告を表示 記事へ誘導

タイアップ記事



- ①ターゲティング誘導
「興味・関心の高い読者」に絞って、対象各メディアから誘導
- ②外部サービスでリターゲティング
Itmedia DMPで抽出した「興味・関心者」をDSPやFacebook上でリターゲティングして誘導
- ③類似ユーザーに拡張
オーディエンス拡張機能を利用し、より多くの「興味・関心者」をタイアップ記事へ誘導



誘導広告を表示しない



実施料金

¥ 1,900,000～

(税別、Gross)

広告仕様

保証形態 PV保証

保証PV 10,000PV～

掲載期間 最短1週間～想定2ヶ月
(保証PVを達成次第終了)

実施メニュー タイアップ記事 1本制作
(コンテンツ掲載費含む)
閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等)

- ・キーワードは自由に選定可能ですが、弊社内でのUB数が10万UBを下回る場合、調整をお願いする場合がございます。
- ・本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用したプランとなります。
- ・外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先を選択します（指定出来ません）
- ・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします（事前の確認・指定はできません）
- ・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。
- ・著名人のアサインや、遠方への取材などが必要な場合は、別途料金を頂戴いたします。

☑「興味・関心の高い人」を中心に認知度を向上

興味・関心の高い人のみに誘導広告を表示するため、興味・関心を持つ人を中心に認知度を向上させる効果が期待できます。

☑アイティメディアへ訪れたことがない人へもアプローチ

読者の行動データを外部サービスへ連携。拡張配信を行うことで、アイティメディアに訪れたことのない、同じ「興味・関心を持つ人」を外部メディアで捕まえる事が可能に。読者のリーチが広がります。

保証PV・価格

PV保証数	3,000PV	4,000PV	5,000PV	10,000PV	15,000PV	20,000PV	30,000PV	50,000PV
価格	1,500,000円	1,600,000円	1,700,000円	1,900,000円	2,500,000円	3,000,000円	4,000,000円	6,000,000円

想定スケジュール

掲載までのスケジュールはお申込み後別途ご案内いたします。詳細については各営業担当にお問い合わせください。

▼タイアップ記事



※「制作～校正」の期間中には初校・再校・念校が含まれます。念校では“再校時にご依頼いただいた修正内容が反映されているかどうか”の最終確認を行っていただきます。

ご注意事項

- ・制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します。
- ・印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は、担当営業までお問い合わせ下さい。
- ・お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下の追加費用が発生する場合がございますのでご了承ください。

- ・初校の出し直し：¥300,000
 - ・念校以降の修正：¥100,000
 - ・再取材のご要望についてはご相談下さい。
- ※全て税別・グロス

商品	キャンセル料金	主な対象商品（下記以外の商品はお問合せ下さい）
記事企画 Special（タイアップ記事広告）	初校提出前まで：広告料金（制作費、掲載費、誘導費を含む一式）の50% 初校提出以降：広告料金（制作費、掲載費、誘導費を含む一式）の100%	期間保証型タイアップ

サイト内にロゴを掲載している期間中、協賛特典のITmedia DX閲覧企業レポートを提供いたします

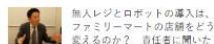


全拠点クラウドERPに移行へ I-PEX、10年越しの全社デジタル化とクラウドシフト

流通・小売 × DX



地元の小さな店を“オンライン”にする、米国スタートアップ3選



無人レジとロボットの導入は、ファミリーマートの店舗をどう変えるのか？ 責任者に聞いた



駅ナカ自販機が最大39.5%の売上げアップ！ 陳列商品を提案するAIがすごい

金融 × DX



金融サービスのUXはどう変わるか、体験と消費の再設計とその指針



Microsoftが金融、製造業、FPのDXをどう進めているのか

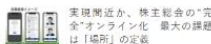
実践企業に聞く



離島の患者を「ホログラム」で診察 MSと長崎県の遠隔医療システムは未来の医療をどう変える？



給付金オペレーションの裏側 自治体が体験した激動の2週間、電業市役所の場合



実現間近か、株主総会の“完全”オンライン化 最大の課題は「場所」の定義

DXトレンド解説



なぜ、ノートンは3Mに“逆転”を許したのか 組織を変革できない企業の末路



Exchange Serverに見つかった2840万の22億円の損失

スポンサー ロゴ

新着記事



DX人材が欲しいなら従業員エンゲージメントを高めよう 向上を図る3つの要素は



コニカミドルタジャパン、企業向けITソリューション「サクセスバック」提供 自社ノウハウの外販に商機



マネフォ、金融機関向けFintechプラットフォーム開発 横浜銀行に提供



AIでオンライン試験のカンニングや替玉受験を防止 富士通らが実証研究 2021年度に製品化へ



ZOZOGLASSの予約数は50万件 大手ファッションECが様々なコスメ事業に参入する狙い



PowerPointにAIプレゼンコーポレーションが登場 ポーザーランナーや内容も評価



地元の小さな店を“オンライン”にする、米国スタートアップ3選

実施料金

¥ 150,000 / 月

(税別、Gross)

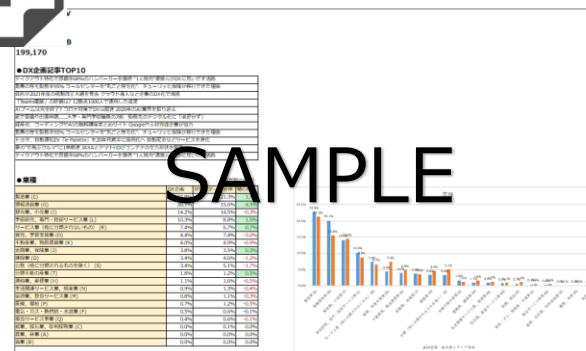
実施メニュー

- ・ TOPページ ロゴ掲載
- ・ 閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等)



ITmedia DX 閲覧企業レポート

※レポートの詳細内容はP8をご確認ください



SAMPLE



a t m a r k I T

ITmedia
IT-プライズ

ITmedia
ITセレクト